

まちづくりなど連携
 知多市と愛知大協定

知多市と愛知大は三日、まちづくりや人材育成、文化、福祉、観光事業などを連携して進めるための協定を結んだ。同大が市町村と同様の協定を結ぶのは、二十二例目。

協定では、市の総合計画の運営に関する大学教員の協力や、観光事業への学生の参加、学生のインターンシップ（就業体験）の市の受け入れ、大学での市長の講義などを想定している。

市役所で開かれた協定締結式で、宮島寿男市長は「スクラムを組んで、まちづくりや教育などの事業を

うまく推進できれば」、川井伸一学長は「各学部が地域の人材育成に取り組んでいる。連携は学生にとっても学びの機会になる」と期待した。

連携・協力に関する協定締結式

協定書を交わす宮島市長（左）と川井学長（右）知多市役所で



2020年7月4日 中日新聞

【許諾番号】20200707-24677